



豊里

大きくなって帰っておいでね

「サケの放流体験」(北上川漁業協同組合、同豊里支部主催)は2月20日、豊里水辺の公園で行われ、豊里小の5年生54人が参加。サケの稚魚を旧北上川に放流しました。放流体験は、生き物や自然から、生命の大切さを学んでもらうことが目的。児童たちは、バケツに入れた稚魚約10万匹を、雨どいから川に放ちました。小さな体に秘められた力強さを感じながら、サケが無事に成長し再会することを誓いました。

久々の再会喜び旧交を温める

「第35回東京米山会総会」は3月25日、東京都江東区にあるホテル「アンフェリシオン」で開かれ、都内在住の会員など75人が出席し、旧交を温めました。総会後の懇親会では、久しぶりに会った友人と再会を喜び、思い出話を花を咲かせました。会場は、地区対抗による歌合戦や歌謡ショー、お楽しみ抽選会などで大盛り上がり。「道の駅米山」の物産品も販売され、参加者は懐かしい古里の味を買い求めていました。



米山

年代問わずフットサルで親睦

「第23回フットサル石越大会」(石越町サッカー協会主催、金寛秀会長)は3月18日、石越体育センターで開かれ、9チーム70人が年代を越えて対戦を楽しみました。大会は、スポーツの普及拡大と競技力の向上が目的。今年で23回目を迎え、市内外から愛好家が集結しました。大人から中学生まで、幅広い年代層の選手たちが白熱した試合を繰り広げ、選手たちは心地よい汗を流しながら、親睦を深めました。



石越

交通死亡事故連続ゼロを誓う

南方地区の交通死亡事故ゼロ期間が3月5日で500日を迎え、佐沼署は9日、市に感謝状を贈りました。南方庁舎で贈呈式があり、当日は佐沼署員をはじめ、地区コミュニティ団体、交通安全関係団体などが出席。佐沼署の高橋直嗣署長から、猪岡秀博南方総合支所長に感謝状を手渡しました。猪岡支所長は「地域の取り組みに感謝します。今後も特に高齢者への啓発を重視し、一日でも長く交通死亡事故連続ゼロを続けたい」と気持ちを新たにしました。



南方

日頃から健康課題を意識して

「いきいきシニアセミナー」(津山公民館主催)は3月7日、津山公民館で開かれ、31人の高齢者が受講しました。セミナーでは、登米市民病院の看護師らが身近な健康問題をテーマに講演。喫煙・受動喫煙が体に及ぼす影響や、お酒の飲み過ぎが原因の病気などについて、分かりやすく説明を受けました。生涯、心身の健康を保っていくには、日頃から自分の健康課題と向き合う必要があります。受講生からは多くの質問が寄せられ、健康に対する意識を深めました。



津山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

清掃で環境美化の大切さ確認

スポーツ少年団迫支部(阿部正一支部長)主催の「クリーンキャンペーン」は3月21日、迫地区で行われ、28団体の団員と保護者、指導者など450人が清掃活動に参加しました。当日は晴天に恵まれましたが、冷たい風が吹く中での作業。分担しながら、迫大東公園や長沼フットピア公園などのごみを念入りに集めました。参加者は、愛着ある場所の清掃活動を通して、環境美化の大切さを再確認しました。

感謝の気持ちを風船に込めて

認定こども園に移行する「登米保育所閉所式」は3月23日、同所で行われ、園児らは思い出が詰まった学び舎から、感謝の気持ちを込めて風船を飛ばしました。登米保育所は1941(昭和16)年に開所。56(昭和31)年に日根牛地区へ移転後も、長きにわたり地域の子どもの成長を見守ってきました。4月からは、登米北上こども園が開園、これまでの登米保育所と北上保育園を再編した幼保連携型認定こども園になります。



登米



東和

ユニカールで親睦を深め合う

「第37回東和女性スポーツ大会」(同実行委員会主催、及川清子大会長)は3月17日、米川公民館で開かれ、約40人が爽やかな汗を流しました。競技は、冬季オリンピック種目のカーリングを、屋内でも楽しめるようにスウェーデンで考案されたユニカール。米谷・米川・錦織の地区ごとに13チームを編成し、白熱した試合を展開しました。勝ち負けにこだわらず、お互いに声を掛け合い楽しんだ参加者は、親睦を深めました。

川面が見渡せるほどきれいに

「夏川堤防敷一斉清掃」(中田地区北上川水系夏川河川愛護会主催、熊谷憲雄会長)は3月11日、同河川敷で実施され、地域の環境美化に努めました。一斉清掃は、毎年春と夏に実施。春はごみの収集と草刈り、枯草焼却作業をしており、会員約300人が参加しました。堤防には雑草のほか、多くのごみが散乱していましたが、約2時間の作業後には、川面が見渡せるほどきれいになりました。



中田